

## 経営体育成支援事業目標達成状況報告書(市町村)

都道府県名	静岡県		
承認年度	市町村名	地区名	都道府県の点検(評価)における所見(評価)及び指導内容
平成26年度	伊豆市	修善寺	—
平成26年度	伊豆の国市	菰山	—
平成26年度	富士市	富士	経営面積の拡大について目標が達成されていない者がいるが、農地中間管理事業を活用した賃借や周辺農家との協議を進めており、3年度目の目標は達成されるものと考え。 また、耕作放棄地の解消の目標が達成されていない者については、耕作放棄地の情報提供等市も積極的に助言等していく方針であり、3年度目の目標は達成されるものと考え。
平成26年度	富士宮市	富士宮	経営面積の拡大について目標が達成されていない者は、農地を探してはいるが条件に合う農地がなかなか見つからず苦慮していたが、農業委員会による農地のあつせんや農地中間管理事業の活用により、3年度目の目標は達成される見込みである。
平成26年度	焼津市	大富	1 経営体中、1 経営体が目標(経営面積の拡大)を達成できなかったため、目標達成に向け対象経営体への支援(農業委員による斡旋強化や農地中間管理事業の活用等による農地の確保)を強化するよう指導した。
平成26年度	焼津市	静浜	—
平成26年度	焼津市	吉永	—
平成26年度	島田市	島田市	4 経営体中、3 経営体が目標(農産物の高付加価値化、経営面積の拡大)を達成できなかったため、次年度目標達成に向け対象経営体を重点的に支援(品質向上対策や農地中間管理事業の活用等による農地の確保)するよう指導した。
平成26年度	吉田町	吉田町	2 経営体中、1 経営体が目標(経営面積の拡大)を達成できなかったため、事業実施主体に農業委員による斡旋の強化や農地中間管理事業の活用等による農地の確保について取組強化を指導した。
平成26年度	牧之原市	東萩間	—
平成26年度	御前崎市	御前崎	「経営面積の拡大」については、事業により導入した施設が一部設計変更された関係で当初計画していた面積を108㎡下回ってしまったため、目標を達成できていない。そこで、助成対象者が検討している育苗にも利用できる小規模ハウスの導入について、中古ハウスの借入等の活用も含めて実現に向けて指導している。 「農業経営の法人化」については、今回の事業による経営規模の拡大に伴って経営管理が予想以上に煩雑となり、法人化に向けた手続きが進まなかったため、法人化に至っていない。そこで、税理士等専門家の支援を受けて法人化の手続きを確実に進めるよう指導している。
平成26年度	掛川市	横須賀・大淵	—
平成26年度	掛川市	曾我・西西郷・掛川・上内田	—
平成26年度	袋井市	浅羽	—

平成26年度	袋井市	袋井西	—
平成26年度	磐田市	北部	—
平成26年度	磐田市	東部	「耕作放棄地の解消」については、現在作付けしている農地の周辺で対象となる農地を候補地を探していたが、再生に手間取る耕作放棄地が多く、候補地の選定に至っていない。そこで、今後は、近隣の農地に限定せず東部地区を主体により広い地域から耕作放棄地の情報を収集するよう指導した。現在、農業委員会を通じて提示された複数の候補地の中から選定を進めているところである。
平成26年度	磐田市	豊田	—
平成26年度	菊川市	加茂	—
平成26年度	浜松市	中央・西・北・ 浜北・天竜	成果目標6項目のうち1項目（雇用）が達成した。また、目標年度前だが法人化が達成した。未達成項目のうち、高価値化の未達成要因は気象条件により全般的に果樹の品質が低下したためと考えられる。拡大・放棄地は土地情報の提供等、一層の支援をするように、また6次化やコストは取組が安定的に継続・発展できるような体制作りを支援し、目標達成するように市を指導する。
平成26年度	湖西市	新所・入出	成果目標3項目のうち1項目（拡大）を達成した。高価値化は、1名は順調に成績を伸ばし目標達成したが、もう1名は導入品種の生育不良等により未達成となったため、導入品種の選定や栽培管理について関係機関の助言を得る等、目標達成に向けて支援するよう市を指導する。また、雇用については募集方法や条件設定について助言や情報収集に努め、目標達成するよう市を指導する。

- (注) 1 都道府県知事は、本様式を地方農政局長（北海道にあっては経営局長、沖縄県にあっては内閣府沖縄総合事務局長。以下同じ。）へ報告する際、事業実施主体から提出された報告書に添付するものとする。
- 2 成果目標等が未達成であり、事業実施主体に対して指導を行った地区の場合は、所見(評価)と合わせて指導内容を記入し、目標等が達成している地区の場合は「—」を記入する。
- 3 目標年度を超えて継続して評価を実施する場合も、同様とする。